

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「水・川・海 探検隊」 報告書

助成番号：2019 - 7211-023

長野県飯山市立木島小学校

校長 大塚 永利子

2019 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2019 - 7211-023	水・川・海 探検隊			長野県飯山市立木島小学校		
校長名	大塚 永利子	担当教諭名		塚本 真里子		
過去の助成実績	なし <input checked="" type="checkbox"/> [助成番号：2018-7210-004 助成事業名：木島「水」プロジェクト]					
キーワード						
対象児童生徒	高校生（ 年 名） 中学生（ 年 名） 小学生（4年 16名）					
対象河川名	千曲川 木島地区用水路 メダカ池	活動場所の指定状況		<input type="checkbox"/> なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
テーマ	ふるさとの水環境について考えよう					
ねらい	木島の豊かな自然環境の良さを感じたり、水環境の保全の意識を高めたりすることができる。					
評価の観点	課題を解決する力 コミュニケーション力 表現する力					
活動時期	年間を通して					
活動形態	<input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 各教科学習（ ）	<input type="checkbox"/> 各教科学習（ ）	学校行事	<input type="checkbox"/> その他（ ）	合計
上記の活動時間数	4 4時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	<input checked="" type="checkbox"/> 専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	・ どうしてメダカが絶滅危惧種になったのか、なぜ昔よりもメダカの数が減ってしまったのか子どもが疑問に思っていることをお聞きした。 講師：長野県環境保全研究所 北野聡先生					
活動成果	発表形態			成果作品		
	<input checked="" type="checkbox"/> 学級単位 対外発表（ ）	<input type="checkbox"/> 学年単位	<input checked="" type="checkbox"/> 学校全体	・ 学習発表会で発表。 ・ 壁新聞にして全校へ発表。		
安全対策に関する課題						
・ 蜂・蛇等からどのように身を守ればいいのか。 ・ フィールドへ行くまでの交通安全の確保。						
活動の成果と今後の課題・展開						
・ 貴重になってしまったメダカが木島地区に今なお残っていることを活動から知ることができ、木島地区の自然の豊かさを体感したり、水環境を守っていこうとしたりする意識を育むことができた。 ・ メダカ池にメダカを復活したか、放流したメダカが卵を産むことができたか調査し、メダカにとって良い環境を整備し、メダカ池だけでなく、広く水環境について考えたり活動したりしていきたい。						
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川下り	7月	
			生物調査系	魚類	4月～11月	

※データベースに登録する活動分野は、助成事業実施の手引き P. 47 の一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

スタートアップ活動報告書

1.助成事業	水・川・海 探検隊		
学校名	長野県飯山市立木島小学校	助成番号	2019 - 7211-023
2.実施した教科・領域	総合的な学習の時間		
3.実施日時	2019年4月18日～2020年2月14日		
4.単元目標	メダカの活動をしたり千曲川でのラフティング体験をしたりするなかで新たな課題を発見して設定したり見直しをもって計画したりして、木島の豊かな自然や木島の良さを感じることで、ふるさとを大切にすることができる。		
5.学年 人数	第4学年 16人		
6.実施場所	メダカ池 木島地区の用水路 千曲川		
活動指導報告実施内容 第4学年 総合的な学習の時間「メダカ池大作戦」 全44時			
第1次	学習活動	メダカ池の環境を整えよう	14時間
		<ul style="list-style-type: none"> ・春さがしをする中で、メダカ池と出会った。 ・メダカ池なのにメダカがいないことに疑問をもった子どもたちがメダカを復活させたいという願いをもった。 ・メダカ池をきれいにすることでメダカが戻ってくるのではないかと考え、メダカ池をきれいにした。 	
第2次	学習活動	黒メダカを捕まえて、メダカを繁殖させよう	20時間
		<ul style="list-style-type: none"> ・木島地区のどこにメダカがいるかインタビュー活動をしたり、実際に行って探したりした。 ・情報を整理しメダカがいそうな用水路へ行き、メダカを捕獲し、教室で卵を産ませて繁殖した。 	
第3次	学習活動	メダカが棲みやすい環境を考えよう	10時間
		<ul style="list-style-type: none"> ・メダカが絶滅危惧種になり、木島地区にもいなくなってしまったのはなぜか疑問をもち、専門家をお呼びして教えていただいた。 ・メダカにとって棲みよい環境がどんなところか、実際にメダカが自生している場所とメダカ池の環境を比較して、メダカが幸せに暮らすには、どこへ放流するのがいいのか話し合った。 	

注) 川で学習を行う場合は、時数の横に「川の活動」と記述する。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019 - 7211-023	水・川・海 探検隊	長野県飯山市立木島小学校 校長 大塚 永利子



フィールド：メダカ池

日付：2019. 4. 18

コメント：メダカ池に探検へ行き、池にどんな生物がいるか調べ、「メダカ池なのにメダカがない」ということに疑問をもった。



フィールド：用水路

日付：2019. 6. 19

コメント：メダカ池にメダカを復活させたいと願った子どもたちが地域のメダカを繁殖させようとしてメダカを捕まえた。



フィールド：千曲川

日付：2019. 7. 16

コメント：メダカ池につながっている千曲川へ行き、メダカ池や用水路との違いを学習した。



フィールド： 外部講師の方のお宅

日付：2019. 8. 27

コメント：メダカをたくさん飼って繁殖している地域の方のお宅へ訪問し、メダカの飼っている水槽や飼い方について教えていただいた。



フィールド： 教室前ワークスペース

日付：2019・9. 18

コメント：自分たちで捕まえてきたメダカを繁殖させ、一人一人水槽を作り、面倒をみた。



フィールド： 教室

日付：2019. 10. 7

コメント：メダカがどうして絶滅危惧種になったのか、なぜ昔よりもメダカの数が減ってしまったのか長野県環境保全研究所の方に来ていただき、疑問に思っていることをお聞きした。



フィールド：メダカ池

日付：2019. 11. 28

コメント：今まで殖やしてきたメダカをメダカ池へ放流した。

【スタートアップ活動報告及び授業内容紹介資料】

(1) 単元名 「メダカ池大作戦」 (全44時間)

(2) 単元によせる授業者の思い

飯山市木島地区の方は、学校行事や児童に関心が強く、いろいろな場面で学校に協力してくださり、子どもを温かく見守ってくださっている。また木島は豊かな自然に恵まれ、伝統野菜の坂井芋・米等の特産物も多い。しかし、子どもたちにとって、この木島の環境は身近すぎて、その素晴らしさを改めて振り返り、誇りに思う機会が少ないように思われる。そこで、総合的な学習の時間では、木島の素晴らしさや、人々の思いに触れながら自分のふるさとを好きになってもらいたいという私の願いがあり、地域素材を総合的な学習の時間のテーマにしたいと感じた。

そのように考える中で私が木島について学んでいくと、「メダカ池」「メダカの会」があることを知った。木島に生息するメダカがいなくなってしまうことに危機感を感じた先人たちが木島にメダカを残そうと「メダカの会」を作り、「メダカ池」を作ってメダカの保護に乗り出したのである。また、在来種のメダカは絶滅危惧種にも指定されていて、危機的な状況であることも学んだ。

もし、総合的な学習の時間にメダカをテーマとして活動することになったら、希少になってしまったメダカを探したり、メダカ池を復活させたりする活動に子どもたちは、熱中できるのではないかと期待した。そして、地域の方の思いや木島の豊かな自然を認識したり、木島の水環境について学習したりすることで、これからの木島について考え、自分のふるさとに誇りをもつことができるのではないかと感じた。

そこで、理科の「春さがし」の学習と兼ねて、子どもたちにメダカ池と出会わせた。そこで遊ぶことを通して、子どもたちは「メダカ池なのになぜメダカがいないのか。」という問いをもった。その問いから今年度の総合的な学習の時間がスタートし、「メダカ池にいなくなってしまったメダカを復活させて、みんなで遊びたい。」という願いを叶えるために子どもたちの探究的な活動が始まった。地域の方に協力をいただきながらメダカ池の環境を整備したり、繁殖させるために木島に生息しているメダカの実態を調査したりした。その調査結果によりメダカを実際に捕まえて繁殖させることもした。

いよいよ自分たちが育ててきた大切なメダカを、当初の願いであるメダカ池を復活させるために放流できる状況となった。そこで改めて私から「本当に大切なメダカをメダカ池に放流してもいいのか。」と子どもたち一人一人に問い返しをした。子ども一人一人が「メダカ池のため」「メダカのため」「木島のため」と異なる視点から様々なことを考えたり、多くの方々から様々な情報を教えていただいたりするなかで、目の前の「問い」をどうやって解決していこうとするか楽しみである。問いの答えを探る中で、自分の考えをもち、自分たちが活動してきたことの良さを感じてほしいと願っている。また、今まで出会った方々との出会いを通してメダカの活動の良さを感じ、木島の豊かな自然や木島の良さに気付き、ふるさとを大切にしていきたいと感じてほしい。

(3) 単元でつける力

① 単元目標

メダカが木島の自然環境と関わって生息していることが分かり、メダカの活動をするなかで新たな課題を発見して設定したり見通しをもって計画したりして、メダカの活動で出会う方々とのかかわりを通してメダカの活動の良さを感じ、木島の豊かな自然や木島の良さを感じることで、ふるさと木島を大切にすることができる。

② 評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① メダカが絶滅危惧種で希少生物であることが分かっている。	① メダカ池の活動を通して、自分の願いや問いをもっている。	① 目標をもち、自分が設定した課題解決に向けて探究的に取り組もうとしている。
② メダカの生息数が環境の変化によって減少していることが分かっている。	② 本・インターネット・人に教えていただいたこと等必要に応じた情報を収集・蓄積している。	② 友だちと協力しながら活動し、友だちのよさや協力することの大切さに気付こうとしている。
③ メダカが棲みやすい環境がどういふところか気付いている。	③ メダカに関する情報を収集・蓄積したものをもとに計画を立てている。	③ 希少となってしまったメダカを自分たちが育てていることに誇

	<p>④ 自分の考えをもち、自分と相反する立場についても考え、多角的・多面的に分析・考察している。</p> <p>⑤ 自分の考えやその考えの根拠をまとめ、自分の考えを相手や目的に応じて分かりやすく書いたり伝えたりしている。</p>	<p>りをもとうとしている。</p> <p>④ メダカの将来を自分ごととして捉え、自分たちのメダカの活動のよさを感じようとしている。</p>
--	---	--

(4) 学びを深める展開の構想

学習活動	○学習内容 ・児童の姿	支援【評価規準】	時間
春をさがしに行こう	<p>○メダカ池との出会い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなところに池があるぞ。 ・たくさんカエルがいるな。他の生き物はいないのかな。 ・「メダカ池」って書いてあるぞ、でもメダカがないいな。 ・池をきれいにするとメダカの姿が見えるかもしれないな。 ・メダカ池でこれからも遊びたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカ池に関心があるようにする。 <p>【B①】</p>	3
メダカ池でグループに分かれて活動しよう	<p>○「メダカ池をきれいにしたいグループ」と「メダカ池でカエルを捕まえたいグループ」に分かれてメダカ池で活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすればメダカ池がきれいになるのかな。 ・たくさんカエルがいてうれしいな。 ・きれいにならないから、一緒にカエルを捕まえよう。 ・なぜメダカ池なのにメダカがないのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の時間を十分に確保し、メダカ池に親しみがもてるようにする。 <p>【B①】 【C②】</p>	2
メダカについて調べてみよう	<p>○メダカが絶滅危惧種であることを知り、外来種と在来種の生物がいることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダカ池にメダカがないのは絶滅危惧種だからなのかな。 ・外来種が在来種を食べてしまうんだ。メダカ池のメダカもアメリカザリガニに食べられてしまったのかな。 ・メダカにも外来種と在来種がいろいろな種類がいるんだな。 ・このままメダカがいなくなるなんていやだな。 ・メダカ池にメダカを復活させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカに関する本を教室に持ってきたり、インターネットで調べられる環境を整えたりする。 <p>【A①】 【B②】 【C①】</p>	3
みんなでメダカ池をきれいにしよう	<p>○メダカ池の葦や枯草などを取り除き、自分たちだけできれいにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、池をきれいにした時は思うようにきれいにならなかったから、今度こそ池をきれいにしたいな。 ・池の中の枯草をきれいにしたいな。 ・根っこのかたまりを抜くのに力も時間もかかるな。 ・ぜんぜんきれいにならないよ。 ・自分たちだけじゃきれいにすることができないよ。 ・どうやったらメダカ池がきれいになるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしたいか分からない子がいないように事前にしたいことを明確にしておく。 <p>【B①】 【C②】</p>	2
メダカ池の今後について話し合おう	<p>○きれいにならなかったメダカ池を今後どうするか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけでは、まったくきれいにならない。どうすればいいのかな。 ・全校のみんなに協力してもらうのはどうかな。 ・メダカの会の方やお家の人にも来てもらおう。 ・メダカの会の方に手紙を書いてお願いをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカ池の写真を掲示し、メダカ池の現状が分かるようにする。 <p>【B①】</p>	2
今度こそメダカ池をきれいにしよう	<p>○メダカ池を保護者・メダカの会の方・地域の方ときれいにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダカの会の方・会長さん・区長さん・元会員の方・保護者の方などたくさんの方に協力いただいてうれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの活動を知っていただき、協力の依頼をする。 	2

	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもきれいになってメダカが棲めそうだな。 	【C②】	
これからの計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ○メダカ池がきれいになり，これからについて話し合う。 ・メダカ池がきれいになったな。 ・池にたくさんメダカを放したいな。 ・メダカを放してみんなで捕りたいな。 ・在来種のメダカをメダカ池に放すためにたくさん繁殖させたいな。 ・木島のメダカはどこにいるのかな。そのメダカを捕って，どうやって殖やせばいいのかな。 ・メダカ池だけでなく，千曲川も学校の近くあるから行ってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいになったメダカ池の写真を掲示し，今後について具体的に考えられるようにする。 	1
千曲川にラフティングへ行こう	<ul style="list-style-type: none"> ○千曲川でラフティング体験をする。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカ池だけでなく，千曲川に興味をもてるようにする。 	2
学校にいる木島のメダカを捕ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○学校にいる木島のメダカを捕り，繁殖させる。 ・小さいメダカは捕れたけど，親のメダカが捕れなかったな。 ・大きなメダカが捕れなかったから，これじゃ卵を生ませて殖やすことができないよ。 ・他の場所に大きなメダカを捕りに行こう。 ・どこにいるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカを捕るための道具を用意する。 	3
大人のメダカがつかまえられなかったからどうするか考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○大人のメダカがたくさん捕れず繁殖には不足なので，どうするか話し合う。 ・木島の在来種をみんなで探して，捕りに行こう。 ・木島のメダカはどこにいるのかお家の人や地域の方に聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の活動の様子写真を掲示する。 	1
メダカ捕りの計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ○大人のメダカを捕る場所を決めたり，メダカを捕る作戦を立てたりする。 ・昔はたくさんメダカがいたのに最近メダカが減っているんだな。 ・吉地区にはたくさんのメダカを目撃情報があるからそこに行きたいな。 ・メダカを捕るにはどうすればいいか作戦を立てよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが収集した情報を掲示する。 	2
メダカ捕りに行こう	<ul style="list-style-type: none"> ○吉地区の用水路へメダカを捕りに行く。 ・別の生き物がたくさんいるのにメダカが捕れないな。 ・大きなメダカが捕れないのはどうしてだろう。 ・ここにはメダカがいないのかな。 ・アメリカザリガニがいるよ。もしかしてメダカは食べられちゃったのかな。 ・これじゃ悔しい。もう1回メダカを捕りに行こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカを捕るための道具を用意する。 ・安全面に配慮する。 	2
メダカ捕りの振り返りをしよう 【事前授業】	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどメダカを捕れなかったのはどうしてなのかアドバイスをいただいて，再度メダカを捕る作戦を立てる。 ・U先生やH先生はどうしてメダカを捕ることができるのかな。 ・メダカとり名人の先生に話を聞こう。 ・作戦のやり方をかえてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方がメダカを捕っている時の写真・動画を用意する。 	2
吉地区の用水路へもう1度メダカを捕りに行こう	<ul style="list-style-type: none"> ○大人のメダカを捕まえに行く。 ・やっぱりメダカが捕れないな。 ・メダカがいなくなっちゃったのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカを捕まえるための道具を用意する。 	3
別の場所へメダカ	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカがたくさんいる場所で今度は捕りたいな。 		

を捕りに行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の用水路に魚が群れで泳いでいるよ。メダカかな。みんなで行きたいな。 ・他の魚は捕れたのにメダカが1匹もいなかったのはどうしてだろう。 	<p>【A③】 【C①】 【C②】</p>	
メダカのお世話の仕方を見せていただき、教えていただこう	<ul style="list-style-type: none"> ○メダカをたくさん飼っていらっしゃる伊東宏さんのお宅へ行き、水槽を見せていただいたり、お話をお聞きしたりする。 ・メダカをどうやって一人一人飼えばいいのかな。 ・掃除の仕方・水換えなどのお世話の仕方を教えてほしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊東宏さんへ依頼する。 <p>【B②】</p>	2
オリジナルの水槽を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人がメダカのお世話ができるように水槽を作る。 ・水の量に対して何匹のメダカを入れるといいのかな。 ・オスとメスを見分けるのが難しいな。 ・メダカが卵を産むといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水槽作りで必要な材料を用意しておく。 <p>【A③】</p>	2
メダカのお世話について振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでのメダカのお世話についてうまくいったこと・うまくいかなかったことを振り返る。 ・エサを決まった時間にあげることができた。 ・水換えがうまくできているから、水がきれい。 ・メダカが暑さにやれてしまって、溶けてしまった。 ・知らない間にメダカがどこかへ行ってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時は目の前にメダカを持ってきて、メダカを見ながら行う。 <p>【C③】</p>	1
大きくなったメダカをどうするか自分の考えをもとう	<ul style="list-style-type: none"> ○外部講師の方に自分たちの疑問を質問したり、再度メダカ池の様子を見に行ったりして、大切に育ててきたメダカをどうするか自分の考えをもつ。 ・（水環境の視点から）長野県環境保全研究所 北野 聡さん ・（メダカ池の視点から）メダカの会の会長さん・15年前にメダカ池の調査活動をされた深堀 芳雄さん ・（用水の視点から）用水にいるメダカを観察されている平野 弘蔵先生【本時】 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師に依頼する。 ・自分たちが考えてきたことや友だちの考えを掲示する。 <p>【A②】 【B②】 【B④】 【B⑤】</p>	5
自分のメダカをどうするか決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のメダカをどうしたいか根拠をもって自分なりの結論を出す。 ・このままメダカ池にメダカがいなくなってしまうのは悲しいから、やっぱりメダカ池に放そう。 ・吉地区からメダカを捕ってきたから、吉地区の用水へメダカを放そう。 ・冬が心配だから冬の間はお家でお世話して春に決めよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験やお聞きした情報が振り返られるように掲示する。 <p>【B⑤】</p>	1
自分の出した考えをもとに活動しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの考えをもとに活動する。 ・メダカ池ですくすく育て、元気に卵を産んでね。 ・これからは自分でエサを見つけて元気に暮らすんだよ。 ・吉地区の用水でも元気で過ごすんだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの願いに添って活動できるようにする。 <p>【C④】</p>	2
これから将来どうしていきたいか考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・メダカがずっと元気にいてくれるといいな。 ・木島にメダカがずっといてほしいな。 ・メダカがいる木島って自然がたくさんあって好きだな。 ・これからも木島の自然を守っていきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動が振り返られるように写真や動画を提示する。 <p>【C④】</p>	1

(5) 本時案

①本時の主眼

吉の用水路へメダカを捕まえに行って、ほとんど捕まえることができなかった子どもたちが、先生方がメダカを捕まえている様子を写真や動画をみて作戦をたてる場面で、先生方にメダカを捕まえるコツを教えてもらったり、友だちと考察したりすることを通して、次回メダカを捕獲するための新たな作戦を考え、見直しをもととする。

②本時の位置（44時間扱いの第26時）

前時：吉の用水へ行って、自分たちが考えた作戦をもとにメダカを捕まえた。

次時：再度、メダカを捕まえに行く予定である。

③指導上の留意点

- ・前時の様子を子どもたちが思い出しやすいように用水の様子や前時の子どもたちの活動の様子を写真や動画で録っておく。

④本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	支援・○評価
導入	学習問題を確認する。	【学習問題】吉の用水でほとんどメダカを捕まえられなかったのはどうしてだろう。		
	先生方がメダカを捕まえている写真や動画をみて、先生方にアドバイスをいただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・また大きなメダカを捕まえることができなかったな。 ・別の生き物はいたから、メダカもいるはずなのに。 ・外来種に食べられてメダカがいなくなっちゃったのかな。 ・木島にメダカがいなくなっちゃったのかな。 ・自分たちが大きな声で行ったから逃げちゃったのかな。 ・同じ作戦の友だちともう1回作戦を立て直したいな。 ・どうして先生方は、簡単にメダカを捕まえられるのかな。先生方に話が聞きたいな。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・前時どんな場所でメダカを捕ったか写真で様子を示す。 ・本時何をするのか分からない子がいないようにていねいに説明する。
展開	次時にどのようにメダカを捕まえたかを考え、自分の考えを更新していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・○○先生の方法でメダカを捕りたいな。 ・○○先生に話を聞いて、捕まえるコツを聞いてみたいな。 ・前と同じ作戦でやっても捕まえられそうにないな。別のグループに移って違うやり方にしようかな。 ・もっとたくさん罠を仕掛けたいな。 ・作戦の順番も大事なんじゃないかな。みんなと話し合いたいな。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな作戦が考えられるように先生方にアドバイスをいただく。 ・どんな作戦にしたいか考えを用紙にまとめられるようにする。
				○自分の考えを友だちに伝えたり友だちの考えを聞いたりして、自分なりの捕まえ方を決めて、まとめようとしている。
終末	どんな作戦を考えたら発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方もいいけど、他の人の捕まえ方もいいな。 ・次の総合の時間が楽しみだな。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を十分に確保する。
				○次時の授業の見直しをもととしている。

(6) 本時案

①本時の主眼

大切に育ててきたメダカをメダカ池に本当に放流したほうがいいのか疑問をもっている子どもたちが、自分たちが今まで活動してきたことや、メダカの会や外部講師の方々の考え・経験談・助言をお聞きしたことをもとに自分なりの考えをもととする場面で、用水路に棲んでいるメダカを管理されている平野弘蔵先生のお話をお聞きすることを通して、今までの自分の考えを更新したり、深めたりすることができる。

③ 本時の位置 (44時間扱いの第40時)

前時：メダカの会の方のお話をお聞きした上で、再度メダカ池の様子を見に行って自分なりの考えを深める。
次時：自分たちが育てたメダカをどうするか自分なりの根拠をもって決める。

指導上の留意点

・これまでの自分の考えや友だちの考えがふり返られるように掲示しておく。

④本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	・支援 ○評価	時間
導 入	1 学習問題を 確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【学習問題】 吉地区の用水路にメダカを放したほうがいいのか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなったメダカが幸せになるにはどうすればいいかな。 ・すくすく成長したメダカがこれからも元気に生きるには、どうすればいいのかな。 ・吉地区の用水路から捕まえてきたから、吉地区に放したほうがいいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの外部講師の方がどんなお話をしてくださったのか掲示しておく。 	5
		【学習課題】 用水に棲んでいるメダカを観察されている平野弘蔵先生のお話をもとに考えよう。		
展 開	2 平野先生のお話をお聞きして、お話から思ったことや考えたことをバタフライチャートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・用水にメダカを放したほうがメダカは元気に暮らせるかもしれない。 ・吉の用水にもアメリカザリガニがいるから、メダカにとっては危険だからメダカ池のほうが安全だな。 ・吉からたくさんメダカを捕まえてきたから、吉の用水からメダカが少なくなっちゃうかもしれないから、用水に放したいな。 ・吉の用水とメダカ池と両方に放したいな。 ・これから冬になるからやっぱり心配だから、春になったら吉の用水へ戻りたいな。 ・メダカ池に放したほうがいいと思っていたけど、吉の用水のほうがメダカにとっては安心だな。 ・吉の用水もいいけど、メダカ池の方が広いからメダカ池に放したほうが良さそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バタフライチャートの書き方に戸惑っている子には、個別に声をかけ、自分の考えが書けるように支援する。 ・自分の考えとは相反する考えについても書くように声をかける。 	25
終 末	3 どんな考えをもったか発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの意見は、自分では考えられなかったけど、いい意見だな。 ・迷ったけど、自分の考えがまとめられて良かったな。 ・メダカとのお別れが近づいていて、寂しいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える時間や発表の時間を十分に確保する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ○メダカの将来について自分の考えをもつことができる。 【B④】 </div>	15

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019 - 7211-023	水・川・海 探検隊	長野県飯山市立木島小学校 校長 大塚 永利子

主な実施箇所	メダカ池 用水路
--------	----------

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)

助成事業の主な実施箇所

